平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	基礎学力講座・国語 (Basic Aptitude Course ; Japanese) 【経営経済学部】			授業コード	A031634
担当教員名	東寺　祐亮			科目ナンバリングコード	A00101
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	選択科目ですが、入学時の日本語プレースメントテストで受講対象と判定された学生は必ず履修してください。				
受講心得	教科書の持参が必須です。各種の問題演習を通して、各自の知識と判断力を駆使し、語学能力の向上を図ります。また、出席が最低限のルールです。				
教科書	◎　日本語検定委員会(編)『ステップアップ日本語講座　中級』(東京書籍)				
参考文献及び指定図書	『国語の常識』(大修館書店)　　『漢字と日本人の暮らし』(大修館書店)『日本語不思議図鑑』(大修館書店)『大人の日本語』養成講座(大修館書店)『文章のレッスン』(大修館書店)『三省堂国語辞典　第七版』(三省堂)『新現代文単語』(いいずな書店)『現代文の重要知識』(桐原書店)『漢字の総練習』(三省堂)『国語標記ハンドブック』(大修館書店)　小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)				
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、文章表現基礎講座、英語1・2、情報リテラシー1・2				

授業の目的	基礎的な日本語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における日本語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人が持つべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座・国語」は大学での勉学に必要な最低限の日本語力の養成を図ることを目的とします。同時に今後の就職活動に際して必要となるさまざまな種類の日本語表現の基礎となるものです。また、本科目は1年次後期の「文章表現基礎講座」(必修)への前段階としても有用です。
授業の概要	クオーター制で、週に2回の授業があります。第1クオーターの第3回から第14回まで、各講義の前半は教科書を中心に学習し、後半は演習をします。毎回、問題演習があります。第16回に授業内容についての期末試験を行います。また、合格しなかった人は、続けて第2クオーター(再度第1回～第16回)を履修してもらいます。授業は第1クオーターとほぼ同内容をより細かく行います。期末試験は第16回に行います。合格できなければ、後期に第3クオーターを履修することになります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 第1回:　スタートアップ。 第2回:　スタートアップ	
第 2 週 ： 第3回:オリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方などについて説明し、成績評価の方法にも触れます。講義開始。敬語 第4回:　敬語・文法(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第 3 週 ： 第5回:文法(2) 第6回:語彙(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第 4 週 ： 第7回:語彙(2) 第8回:言葉の意味(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第 5 週 ： 第9回:言葉の意味(2) 第10回:表記(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。

第 6 週 : 第11回:表記(2) 第12回:漢字(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第 7 週 : 第13回:漢字(2) 第14回:漢字(3)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第 8 週 : 第15回:　総合問題 第16回:　期末試験	
第 9 週 : 第1回:　敬語 第2回::　敬語・文法(1)　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第10週 : 第3回:文法(2) 第4回:語彙(1)　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第11週 : 第5回:　語彙(2) 第6回:　言葉の意味(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第12週 : 第7回:　言葉の意味(2) 第8回:　表記(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第13週 : 第9回:　表記(2) 第10回:　漢字(1)　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第14週 : 第12回:漢字(2) 第13回:　総合問題　　※　演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。	予習:教科書の該当箇所。
第15週 : 第14回:　総合問題 第15回　総合問題	
第16週 : 第16回:　期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考	この科目の単位は卒業要件には算入されませんが、「基礎学力講座」の合格認定が工学部では「卒業研究」の、経営経済学部では「ゼミナールⅣ」の着手条件となります。ただし、外国人留学生にはこれは適用されません。また、この科目の単位は半期に履修登録できる単位数(上限25)に含まれます。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	日常の言語活動に積極的に関与し、読解力や文章力の習得に努めること。
【知識・理解】	演習問題や新聞・雑誌等の情報に対して、内容の把握理解及び漢字(熟語を含む)が正しく読め、その意味を明確に理解すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	自分の考えを、正確に表現できる、明快で論理的な文章力を身につけること。
【思考・判断・創造】	日本語が持つ特性を的確に把握し、他への伝達表現能力を確実に習得すること。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**15点**	**15点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**45点**	**15点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	提出されたものについて、課題の主旨を理解し正確に解答・回答しているかを評価します。
発表・その他（無形成果）	講義時における講座内容への取り組み点。授業への出席点。